

橋本放五郎

はしもと  
なつと

舊陸軍軍人。

明治二十二年二月十九日岡山縣生れ。

昭和二十二年六月二十九日没（六六―五七）。陸軍士官學校、大正九年

陸軍大學校卒。昭和五年國家政治講習會、昭へ櫻會と結成、九年大佐、十

一年豫備退役後大日本青年黨統領、十七年衆議院議員。戦後戦犯として

終身禁錮刑と、二十年假出所。

著書『革新の必然性』（昭和十五年十一月二十一日大日本赤誠會出版  
局）等。

文獻、戸川貞雄著『橋本放五郎』（昭和十七年十一月十五日拓南社）、

林逸郎著『蘭魂―東京裁判と橋本放五郎』（昭和二十一年二月）二十八

日考現社）等。